

News Release

ストーブによる住宅火災が毎年発生しています

～石油ストーブは給油時に、電気ストーブはつけっぱなしにご注意ください～

NITE (ナイト) [独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、平成 28 年 11 月 25 日 (金) に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

1. 今年も石油ストーブや電気ストーブなどが活躍する季節になりましたが、例年、11 月頃からストーブによる火災事故が増加し、12 月、1 月と月を追うごとに増えていきます。住宅火災に最も注意が必要な時期になりますので、今一度正しい使用方法を確認し、事故を未然に防ぎましょう。
 2. NITE (ナイト) が収集したストーブ¹による製品事故件数²は、平成 23 年度～平成 27 年度までの 5 年間に合計 975 件³ (石油ストーブ 305 件、ガスストーブ 40 件、電気ストーブ 446 件など) ありました。このうち火災を伴うものが 646 件 (66%) あり、火災や CO 中毒による死亡 85 件、重傷 23 件、軽傷 118 件などの被害が発生しています。特に 60 歳代以上の高齢者による死亡事故は全体の約 7 割を占めているため、注意が必要です。
 3. 主な事件事例と注意事項
 - 使用者がカートリッジタンクを石油ストーブに戻す際、タンクのふたを十分にしめていなかったため灯油がこぼれ、その後拭き取りが不十分な状態で点火したことでこぼれた灯油に引火し、住宅 1 棟を全焼し、1 人が死亡、1 人が重傷を負った。(平成 28 年 2 月、大分県)
給油後は、カートリッジタンクのふたが確実に閉まっていること、灯油がタンクから漏れていないことを確認してください。
 - 石油ファンヒーターに誤ってガソリンを給油したため、大きな炎が上がって、住宅を全焼し、1 人が死亡、1 人が重傷を負った。(平成 28 年 3 月、北海道)
灯油と間違えてガソリンを誤給油しないでください。
 - カセットボンベ式ガスストーブのボンベ交換時に、ボンベが正しく装着されずガスが漏れていたため、点火時に炎が上がり衣服に着火して、1 人が軽傷を負った。(平成 27 年 3 月、大阪府)
ボンベ装着時に、ガス臭がしたり、ガス漏れの音 (シューという音) が聞こえたりした場合は使用を中止して、ボンベが正しく装着されているか確認し、しばらく時間をおいてから点火してください。
 - 外出中に、電気ストーブの上に衣類を干していたところ、衣類が落下してヒーター部に被さり、着火して周辺を焼損した。(平成 27 年 12 月、福岡県)
電気ストーブや石油ストーブの周囲に衣類を干さないでください。また、外出時や就寝時には必ずスイッチを切ってください。
- (1) 石油やガス、電気を使うストーブ全てを対象とする。また温風暖房機も併せて対象とし、開放型のファンヒーターや強制通排気方式 (F F 式) の温風暖房機を含む。
- (2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む) 。
- (3) 平成 28 年 11 月 1 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 記者説明会開催概要



日 時：平成 28 年 11 月 25 日（金）

10:00～（開場 9:00～）

毎月の定例と曜日が異なりますのでご注意ください

会 場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 28 年 11 月 24 日（木）
18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。
会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[電車でお越しの場合]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

(2) ご説明する内容

平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に発生したストーブによる事故 975 件について、年度別及び被害状況別の発生状況や、事故事例、事故を防止するためのポイントを、再現実験映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現実験映像を収録した DVD を配布いたします。



(写真) カセットボンベ式ガスストーブにボンベが正しく装着されずにガスが漏れ、点火した時に異常着火した様子（イメージ）

(3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

入館時：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分に گذاして入館してください。

退館時：入館許可証を受付に返却してください。

庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当者：穴井、田代

- 記者説明会前日（11 月 24 日（木））及び当日（11 月 25 日（金））
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 11 月 22 日（火）まで及び 11 月 28 日（月）以降
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617